

令和 2 年 3 月 17 日

上田市内の学習組織・団体の紹介

1. 社会教育大学・・・(上田市誌 近現代編 (5) P114)
 - (1) 発足経過 1979 (昭和54) 年7月開催の「上小母親文庫創立20周年記念大会」をきっかけに発足。
 - (2) 目的 「学び方を学ぶ」。系統的な学習を目指す。
 - (3) 運営 受講生の中から選ばれた理事により自主的に運営
 - (4) 活動内容 講義は月一回、修了年限2年
歴史研究科(指導:尾崎行也先生)、文学科(故 平野勝重先生)
令和元年に40周年を迎え、記念冊子「共に学びそして明日へ」を発刊
 - (5) 活動場所 事務所は市立図書館

2. 上田郷友会・・・(上田市誌 近現代編 (5) P136)
 - (1) 発足経過 1884 (明治17) 年、山極勝三郎、小河滋次郎らにより東京で発足。上田支部もつくられたのが始まり
 - (2) 目的 当初は同郷の人々の親睦を図り互いに励ましあうため
 - (3) 活動内容 毎月例会を開き学習会。地域の歴史や文化、現代生活に必要な新知識等を習得している。
 - (4) 活動場所 市立図書館

3. 上小郷土研究会・・・(上田市誌 近現代編 (5) P136)
 - (1) 発足経過 1947 (昭和22) 年発足
 - (2) 目的 上田地方の歴史、自然、文化財、生業など幅広い分野を自主的に研究
 - (3) 活動内容 遺跡発掘現場の見学や史跡訪問など特色ある活動
 - (4) 活動場所 市立博物館

4. 上田民俗研究会・・・(上田市誌 近現代編 (5) P138)
 - (1) 発足経過 1953 (昭和28) 年発足
 - (2) 目的 上田地方の民衆の間に伝えられ行われている風習・風俗を研究
 - (3) 活動内容 「通信 上田盆地」の発行

5. 新上田自由大学・・・(上田市誌 近現代編 (5) P140)
 - (1) 発足経過 1977 (昭和52) 年10月開講
 - (2) 目的 上田自由大学※の精神を発展的に受け継ぎ、地域の教育・文化の向上を図る。
 - (3) 活動内容 毎月第三土曜日の午後に講義。「上田小県誌」発刊
 - (4) 活動場所 市立図書館

6. 生涯楽習 上田自由塾
 - (1) 発足経過 2005 (平成17) 年に発足
 - (2) 目的 上田地域の公共施設を会場に、市民の生きがいを高めることを目的として開設。市民が主導の生涯学習。講師や塾生の募集広報と講座の会場は市が協力・提供、運営は会費のみで行っている。
 - (3) 活動内容 1コマ1回ワンコイン (500 円)、2コマ1回 (1,000 円)
 - (4) 活動場所 市内公民館や民間施設
 - (5) 特徴 だれでも先生だれもが塾生

7. 蚕都くらぶ・まーゆ

- (1) 発足経過 2001（平成13）年発足
- (2) 目的 地域通貨を使って楽しく心地よく暮らせる地域、温もりのある人と人とのつながりを創ること
- (3) 活動内容 地域通貨の活用法でコミュニティづくり、寺子屋、会報の発行など。
- (4) 活動場所 中央公民館など
- (5) 特徴 ま〜ゆ寺子屋：肩書きなどにとらわれず、会員が講師になることを基本にしている。「擬洋風建築見学&まち歩き」、「市町村合併と私たちの暮らし」、「自然観察教室」、「パンづくり教室」、「布ブローチづくり」、「海外から見える日本」、「健康ミニ講座」など、硬・軟取り混ぜたテーマで、随時開催

8. ことぶき大学・大学院・・・主催：上田市教育委員会

- (1) 発足経過 大学：1985（昭和60）年4月に開設
大学院：2002（平成14）年に設立
- (2) 目的 大学：履修は4年間。自然・文学・歴史等の一般教養から専門科目まで幅広く学習
大学院：履修は2年間。3つのテーマ（中山間地・芸術文化・環境共生）で専門的に学習
- (3) 運営 上田市教育委員会（中央公民館・城南公民館）
- (4) 活動内容 大学：4年間で36講座
大学院：2年間で、文系・自然系のコースから選ぶ
講義だけでなく、「考える学び」や博物館・大学など外に出かけて学ぶ講座も。2年次に小論文等にまとめ、修了時には「修士学位記」を授与
- (5) 活動場所 大学：中央公民館校と城南公民館会場
大学院：中央公民館
- (6) 募集 市内在住60歳以上の方。大学80人、大学院60人

9. 長野県 シニア大学（旧 老人大学）・・・主催：長野県

- (1) 発足経過 1978（昭和53）3年設置
- (2) 目的 教養・実技・実践講座から社会参加活動を行うための学習
- (3) 運営 上田保健福祉事務所及び(公益法人)長野県長寿社会開発センター
- (3) 活動内容 履修は2年間。卒業記念誌作成やフィールドワーク
- (4) 活動場所 長野県上田振興局講堂
- (5) 募集 おおむね60歳以上の県内在住者

10. 上田市高齢者学園・・・主催：上田市

- (1) 発足経過 1981（昭和56）年、上田市と上田市福寿クラブ連合会が設置
- (2) 目的 健康づくり・社会参加づくり・時事問題等の学習
- (3) 運営 高齢者福祉センター
- (3) 活動内容 履修は3年間。健康づくり・社会参加づくり・時事問題等の学習
- (4) 活動場所 高齢者福祉センター
- (5) 募集 市内在住60歳以上の方。70名

11. その他

「塩田文化財研究会」、「東信史学会」、「上田・小県近現代史研究会」、「上小理科研究会」等市民主体の学習団体の他、各公民館でも「まるこ春秋学園」等様々な講座が行われています。

=====

※上田自由大学について

信濃自由大学（大正13年から上田自由大学）とは、大正10年（1921年）11月から昭和初期にかけて、上田市で開講された自己教育機関の名称です。これは、当時神川村（現在上田市）の金井正や山越脩蔵、上田市の猪坂直一が、在野の哲学者 土田杏村の協力・指導を得て実現

したものでした。講座は、働きながら、系統的に政治、経済及び文化など各分野にわたって大学で教えられている教育を学ぶというものでした。また、大学の運営は、農閑期を使って、手弁当で行われました。

自由大学は、小県哲学講習会、児童自由画運動、農民美術運動、それに信濃黎明会による普選・平和運動など同時期に開かれ、県内では下伊那や松本などに、県外では新潟や群馬など、県内外に広がっていきました。100年経つ現在も、市内の学習組織や講座の刺激となっている。